

## 別記様式 2

### ばれいしょ「コナユタカ」

#### 1. 育成機関

地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部  
北見農業試験場作物育種グループ

#### 2. 来歴

育成期間：平成 15～25 年（11 年間）  
交配親：根育 38 号 × K99009-4  
旧系統名：北育 20 号

#### 3. 主要特性

- ・でん粉重が「コナフブキ」より多い。
- ・ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。
- ・「コナユタカ」の名称の由来は、でん粉原料用ばれいしょが豊作になるように願いを込めた。

#### 4. 特性概要

##### (1) 生育特性

- ・茎長は「コナフブキ」より長い。
- ・枯ちよう期は「コナフブキ」よりやや遅い晩生である。
- ・「コナフブキ」よりでん粉重が多い。
- ・でん粉価は「コナフブキ」よりやや低い。
- ・ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。
- ・塊茎腐敗抵抗性が「コナフブキ」より弱い。

##### (2) 品質特性

- ・でん粉の平均粒径は「コナフブキ」より大きく、離水率およびリン含量は「コナフブキ」よりやや低いが、総じてでん粉品質は「コナフブキ」並である（表 2）。

#### 5. 栽培適地及び普及見込み先

適地：北海道のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯  
普及見込み：北海道で優良品種に採用（普及見込み面積 5,000ha）

#### 6. 品種登録出願状況

平成 26 年 6 月 6 日 出願  
平成 26 年 10 月 28 日 出願公表

#### 7. 予算区分

農林水産省委託事業（指定試験事業）

#### 系譜図

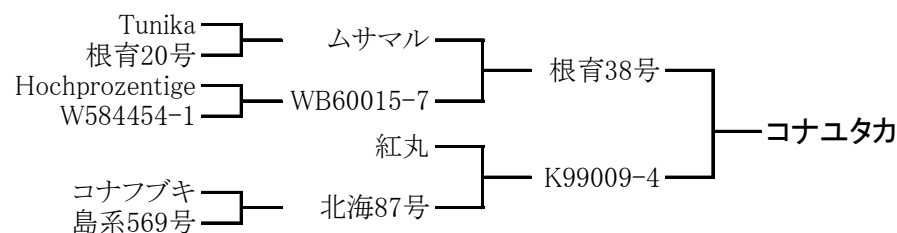


表 1 生育特性（育成地、平成23～25年度）

品種名	終花期の 茎長 (cm)	枯ちよう 期 (月/日)	上いも 数 (個/株)	上いも の平均 重(g)	上いも 重 (kg/10a)	でん粉 価 (%)	でん粉 重 (kg/10a)	コナフ ブキ比 (%)
コナユタカ	92	10/16 (晩生)	9.6	149	6,066	20.9	1,213	117
コナフブキ	85	10/8 (中晩生)	9.6	118	4,895	22.2	1,041	100
サクラフブキ	86	10/19 (晩生)	10.2	116	5,224	23.8	1,193	115

品種名	病害虫抵抗性				塊茎の特性		
	ジャガイモ シストセンチュウ	Yモザ イク病	疫病	塊茎 腐敗	形	目の 深さ	肉色
コナユタカ	強(H1)	強	弱	ごく弱	円	浅	淡黄
コナフブキ	弱(h)	強	弱	中	短卵	浅	白
サクラフブキ	強(H1)	強	弱	やや強	短卵	中	白

表 2 でん粉の品質特性（育成地、平成20～25年度）

品種名	白度	平均 粒径 (μm)	糊化特性			リン 含量 (ppm)	離水 率 (%)	ゲル物性	
			糊化開始 温度(°C)	最高粘度 (BU)	ブレーク ダウン(BU)			破断凹み (mm)	破断強度 (g/cm2)
コナユタカ	96.4	49.9	63.5	1,533	1,153	757	30.4	9.5	2,008
コナフブキ	96.6	46.5	64.5	1,590	1,128	803	35.0	9.2	1,828
サクラフブキ	95.8	52.7	65.7	1,503	1,013	710	42.8	8.3	1,965

注1) 北見農試における平成20～25年の試験成績の平均で、供試塊茎は北見農試産。

2) 白度は色彩色差計で測定したハンター白度。

3) 糊化特性は、4%でん粉懸濁液をブラベンダー社製ビスコグラフで測定。

4) 離水率は、0.1M食塩水中において4%でん粉懸濁液を糊化したゲルを5°Cで1週間貯蔵後、離水を測定。

5) ゲル物性は、0.1M食塩水中において25%でん粉懸濁液を糊化したゲルを5°C24時間貯蔵後、レオメータ

草



姿

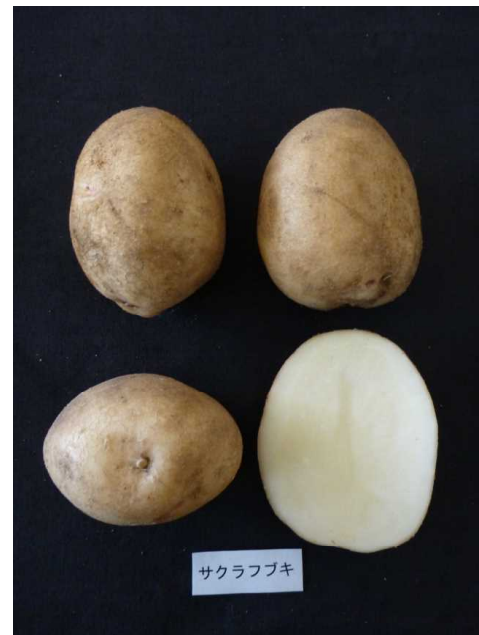


上段左：「コナユタカ」  
(北育 20 号)

上段右：「コナフブキ」

下段：「サクラフブキ」

塊 茎



上段左：「コナユタカ」  
(北育 20 号)

上段右：「コナフブキ」

下段：「サクラフブキ」